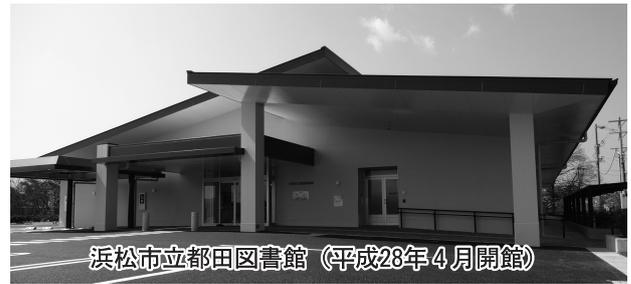


平成28年 7月28日発行

静岡県

図書館協会

会報 No.67



編集・発行 静岡県図書館協会

静岡市駿河区谷田53番1号
静岡県立中央図書館内

相互連携と専門性の向上を

照りつける夏の陽射しと蝉の鳴き声の下、各図書館では夏のかき入れ時となり、多くの利用者で賑わっていることと推察申し上げます。

会長を仰せつかって2年目、図書館界全体を取り巻く諸課題を改めて認識しています。各図書館への訪問等からは、個々の図書館にも各々課題や懸案があること、職員の皆さんは多忙な毎日の中で精一杯業務に打ち込んでいること、時には不安・困惑・苛立ちに悩まれていることなども伺っています。

さて、本県の図書館事情を概観してみますと、図書館の大切な要素となる資料は、県、市町、大学・専門の各図書館でほぼ分担収集されており、年間発行書籍（約8万点）の約50%近くがカバーされているようです。加盟館全体を一つの図書館と考えると、所蔵資料の合計は約1836万点となります。そして、おうだんくんサーチを活用した図書館間の資料貸借は年間約3万点、相互に協力し合い、資料提供に尽力しています。レファレンスにも対応していますし、利用者のことを考えた様々な工夫もなされています。なおかつ、地域資料はその図書館ならではのものですし、大学・専門図書館も専門分野や学部に関連した蔵書で特色を出しています。その結果として、全館の年間利用者数は約1300万人以上と思われます。これほど多くの利用がある施設は他に見当たりません。

6月の県図書館交流会で講師の岡本真氏（アカデミック・リソース・ガイド代表取締役）は、図書館の基本構造は2階建てであるべきと指摘しています。

県図書館協会 会長 河原崎 全
県立中央図書館 館長

先ず、住民の知る権利を保障するため「情報・知識にアクセスできる根本の機能」（＝本や雑誌、オンラインデータベースやインターネットアクセス等の提供）を求めています。ここが図書館として最も大切にするべき1階部分とのこと。市町の図書館にとっては、児童サービス（子どもの読書推進）も欠かせないでしょう。こうした機能を維持するためには職員の専門的の力量も重要だと思います。岡本氏はその後に最近多くの図書館で期待されている「にぎわい・つながり等の発展的機能」（2階部分）が展開されるべきであるとしています。なるほどです。向かい風の中にいる私たちですが、図書館は社会教育施設であることや図書館本来の使命を忘れてはならないと改めて思いました。

当協会としても、先ずは各図書館の1階部分の充実に寄与したいと思います。その上で、各図書館が地域づくりや賑わいづくりに関わり、図書館の新たな価値を創出していくことを期待しています。28年度は、「職員の資質向上を図ること」「加盟館が連帯感を持ち、元気を出すこと」を重視し、それを踏まえた事業を展開しています。館種、規模、運営形態、利用者層、所蔵資料等に違いのある、127館によって構成される当協会ですが、各図書館が特色化を図りつつ、相互に資料・情報・人の連携（ネットワーク）がなされ、協力し合える組織であることを願っています。暑さもまだこれからです。健康に留意し、この夏を乗り越えましょう。

平成28年度 総会報告

平成28年度の静岡県図書館協会総会が、4月26日に静岡県立中央図書館で開催され、下記の8つの議案が承認されました。

- 第1号議案 平成27年度事業報告
- 第2号議案 平成27年度決算報告・会計監査報告
- 第3号議案 役員承認
- 第4号議案 静岡県図書館協会会則の改定
- 第5号議案 浜松市立都田図書館の入会申請
- 第6号議案 伊豆の国市立長岡図書館の退会申請
- 第7号議案 平成28年度事業計画案
- 第8号議案 平成28年度予算案

<平成28年度静岡県図書館協会役員>

理事 会長	河原崎 全	(静岡県立中央図書館)
副会長	杉山 一男	(沼津市立図書館)
副会長	高山 厚志	(浜松市立中央図書館)
	木村 加寿子	(熱海市立図書館)
	中澤 万寿美	(三島市立図書館)
	佐野 和弘	(静岡市立中央図書館)
	大沼 弘幸	(函南町立図書館)
	澤田 均	(静岡大学附属図書館)
監事	山本 義孝	(袋井市立袋井図書館)
	小幡 壮	(静岡県立大学附属図書館)

※加盟館名簿順

<平成28年度事業計画>

会議・大会

- 理事会 第1回(4/26) 第2回(9月初旬・文書による決裁) 第3回(2/10)
- 総会兼館長会(4/26)
- 相互貸借担当者会議(5/11)
- 静岡県図書館大会(11/7)

研修・視察

- 図書館基礎研修(5/12)
- レファレンス基礎研修(5/19・5/25・6/2・6/9)
- 図書館運営研修(5/27)
- 図書館情報交換会(6/15・12/8・1/18)
- 大学・専門図書館研修(9月上旬)
- 図書館情報研修(9月下旬)
- 資料保存計画(10/6・11/25)
- 児童・青少年サービス研修(10/14)
- レファレンス応用研修(10/19, 予備10/27)

出版

『職員名簿』・『県図協会報 No.67』・『県図協会報 No.68』・『静岡県の図書館127』『静岡県図書館大会記録集』(総会資料では、『県図協会報』の号数に誤りがありました。No.67・68に訂正してください。)

専門委員会

- 資料専門委員会 年3回開催
- 図書館大会運営委員会 年5回開催

<平成28年度予算>

収入総額並びに支出総額3,459,000円の本年度予算が承認されました。

<新規加盟館・退会館>

- 1 新規加盟館
 - ・浜松市立都田図書館(H28 4/1 開館)
- 2 退会館
 - ・伊豆の国市立長岡図書館(H28 3/31 休館)

平成28年度 静岡県図書館協会館長研修会の報告

静岡県図書館協会総会兼館長会後に慶応大学文学部の糸賀雅児教授をお迎えし、「公共性にもとづく図書館経営」という演題で御講演いただきました。糸賀教授は、CCCによる図書館経営、公共図書館における貸出猶予問題など最近話題となったテーマや、図書館経営における評価について詳しく解説してくださいました。図書館経営評価については、滞在型図書館や課題解決型図書館では、館内閲覧量の測定が重要で、2時間に一度閲覧室の様子を調査すれば館内閲覧量の測定ができること、利用者調査は経営評価のツールとしては回答者に常連が多く、未利用者の意見が全く反映できない点で問題があること、図書館サービスの質の評価と接客業における顧客満足は異質であり、満足度をもってサービスの質を評価できないことな

ど、基本的な考え方をわかりやすくお話しくさいました。出席者にもすぐに業務に反映できる内容の研修だったと好評でした。



糸賀雅児氏による講演

子ども読書活動で

東伊豆町立図書館が文部科学大臣表彰を受賞しました

文部科学省では、毎年4月23日を「子ども読書の日」とし、記念事業として“子ども読書活動推進フォーラム”を開催しており、合わせて子どもの読書活動優秀実践団体に対する文部科学大臣表彰を行っています。平成28年度は、図書館の部で東伊豆町立図書館が大臣表彰を受賞しました。

～子どもとともに成長する図書館～ 東伊豆町立図書館

みんなの願いが結集して誕生した東伊豆町立図書館は、子どもの読書を最優先課題として24年間推進に取り組んできました。子ども読書推進計画に基づき、館内外のおはなし会、ブックスタート、育児サークル、スタンプラリー、読み聞かせ教室、色々な読書関連イベントを実施してきました。開館記念日の7月29日にはワールド・フェスタを開催し、開館日を老若男女みんなで祝います。

図書館が生んだ文化ともいわれている人形劇サークル「あしたば」は、地元の民話を次々に人形劇化して子どもたちに20年間伝え続けてくれます。図書館友の会や読み聞かせの会の方々もイベントに協力してくれます。子どもの成長に携わる関係機関の保健センターや幼・小・中・高校とも様々

な形で連携してきました。

これからも、子どもの健やかな成長を願う皆様と協力して、さらに子どもの読書活動の充実に力を入れていきたいと思っています。



東伊豆町立図書館

平成28年度 公立図書館等職員運営研修 図書館運営研修報告

4月から障害者差別解消法が施行されたことを受け、午前には埼玉県立久喜図書館の佐藤聖一氏と元川越市立図書館職員で相模女子大講師の新山順子氏の障害者サービスについて講義があり、午後は危機回避のための接遇をテーマにした草津町立温泉図書館の中沢孝之氏の講義がありました。今回は、障害者差別解消法に関する講義について報告します。

佐藤聖一氏の講義では「障害者差別解消法により、図書館としては、不当な差別的取扱いの禁止、合理的配慮の提供、基礎的環境整備を行うことが求められています。基礎的環境整備を整えることで、すべての利用者が合理的配慮を依頼せずに図書館の利用が保障される状態が最終的な目標です。障害は障害者にあるのではなく、図書館のサービスにこそあるという意識を持ち、社会の側で誰でも利用可能な状態にしておくことが大切です。図書館には、障害者サービスというこれまでの蓄積があります。それを裏付けるものが今回の法です。」と今回の法の趣旨について解説なさいました。

続いて、新山順子氏は「図書館はすべての障害者の情報提供総合窓口になり得ます。市販の大活字本や点字資料、音声 DAISY などは購入もでき

ますし、相互貸借で取り寄せることもできます。また、現行の著作権法において、図書館はさまざまな障害者サービス用資料を自由に複製できますし、インターネット送信や譲渡もできます。さらに、他の図書館等が作製したものをコピー・ダウンロードして提供することもできます。自館で原本を点字など利用可能なものに形態変換することまではできなくても、対面朗読と郵送貸出はすべての図書館で対応して欲しいと思います」と図書館で行うことができるサービスをご紹介くださいました。

受講者からは、障害者差別解消法について図書館として取り組むべきことが分かったとの感想が多く寄せられた研修でした。



佐藤聖一氏による講義

新設図書館紹介 浜松市立都田図書館

浜松市立都田図書館は、平成28年4月1日に浜松市立図書館として24番目に誕生した図書館です。隣が浜松市立都田南小学校ということから児童書の充実を図り、この図書館の特長にもなっています。日本の三大人工美林である天竜スギや、地元のヒノキを使ったフロア壁面は、木の香りの図書館として好評です。

ブラウジングコーナーは、ゆったりとしたソファが好評で、さらに、窓側に面した閲覧席や、飲食コーナー、授乳室など、ゆっくり滞在できる図書館です。また、玄関を入れて右側に貸出し可能な展示コーナーがあり、地域の郷土資料や、地域コミュニティに係わる団体の作品などが展示できます。

最近の健康志向から病気や、健康維持に日頃、疑問に思っていることに応えるため、医療や健康に関する図書や、行政、近隣医療機関、患者会などの資料を集めた医療・健康情報コーナーを設置しました。また、

看護、介護、福祉分野で活躍したいという方々にも情報発信していきます。

都田図書館は、みなさんの課題解決への支援や、地域の歴史の伝承・発信機能を持った「地域情報ステーション」の役割を担う図書館です。

また、図書館の屋根を民間の太陽光発電業者に貸し出しを行い、平常時は発電した電気を売り、災害時は非常用電源として使うなど、地域に役立つ図書館としての機能も合わせ持っています。お近くに来られる機会があれば、ぜひお立ち寄りください。



浜松市立都田図書館館内

平成28年度 第24回静岡県図書館大会 ～伝えよう図書館の力 広げよう新たな可能性～

日時 11月7日(月) 9:45～15:45

会場 グランシップ(静岡市駿河区池田)

日程 9:20～9:45 受付
9:45～10:25 開会式・表彰式
10:25～10:40 情勢報告
10:40～10:50 休憩
10:50～12:45 ライブトーク・諸連絡

「図書館の意義、本の意義とは? ～災害時の図書館をきっかけに～」

講師 石井 正己氏(東京学芸大学教育学部人文社会科学系教授 一橋大学大学院連携教授)

佐藤 健二氏(東京大学大学院人文社会系研究科教授)

塚田 薫代氏(静岡県立こども病院医学図書室 医学司書 ヘルスサイエンス情報専門員)

13:45～15:45 分科会

第1分科会 図書館サービス

第4分科会 図書館とユニバーサルデザイン

第2分科会 幼児・児童に対するサービス

第5分科会 学校図書館

第3分科会 子どもの読書活動

第6分科会 大学図書館

問い合わせ先 静岡県立中央図書館 企画振興課・振興係

TEL 054-262-1246

※参加費は無料です。

※各分科会への申込は、原則として先着順となります。

申込締切日 10月6日(木)

公立図書館等職員研修のお知らせ

総会の際に日程が決まっていなかった研修の日程が決まりました。ぜひご参加ください。

専門研修	大学・専門図書館研修	9月13日(火)	東海大学附属図書館清水図書館
	① 会場事例発表 ② 会場図書館見学 ③ 講演 「大学教育における教員と図書館員の連携」 講師 三重大学附属図書館研究開発室・准教授 長澤多代氏		
	図書館情報研修	9月29日(木)	静岡県立中央図書館
	① 講義 「デジタルアーカイブ基礎の基礎一県内図書館の事例も含めて」(仮) 講師 TRC職員 事例発表:県内図書館職員(3～4館)予定 ② 講義 「データベース基本講座と活用講座」(仮) 講師 静岡新聞社		